

声を上げる権利

00531 78 0023 または<https://wrs.expolink.co.uk/wpp>

WPPおよびその企業内で働く誰もが、WPPのポリシーやWPPの行動規範に違反しているなどの事態に遭遇した場合、懸念事項を気兼ねなく報告できなければなりません。

このような場合、まずは直属の上司やその他管理職に懸念事項を伝えることが定石とされています。ですが、これが必ずしも可能であるとは限らないことから、WPPでは皆々全員が声を挙げることのできる場の確保に取り組んでいます。

WPPでは、従業員、フリーランス、コンサルタント、サプライヤー、そしていかなる第三者もが、WPPおよびその事業会社の業務や行動についての懸念事項を誰にも知られることなく報告できる、無料のヘルプラインサービス「声を上げる権利」を設けています。本サービスは独立で運営されており、個人が特定されることを望まない報告者の匿名性を保護します。

「声を上げる権利」サービスを使用してどういった懸念事項を提起できますか？

「声を上げる権利」サービスは、不適切な業務、データプライバシー、セキュリティ、腐敗の疑いのある実務賄絡、詐欺、健康と安全に関する事案など、上司に直接提起できないと感じるあらゆる懸念事項の報告に使用できます。差別、いじめ、嫌らせなど、容認できない扱いを受けている人々がいる場合の告発にも使用できます。

「声を上げる権利」サービスを使用した懸念事項の報告方法は？

「声を上げる権利」サービスのご利用は自由意思に基づき、報告は完全に機密として扱われます。サービスは以下から24時間ご利用いただけます。

00531 78 0023 または<https://wrs.expolink.co.uk/wpp>

「声を上げる権利」サービスは、WPPと関連のある第三者機関のExpolinkによって管理されています。Expolinkは、世界各地で複数の言語によりWPPの「声を上げる権利」サービスを運営しています。

以下の点に留意してください。

1. (自身で希望する場合を除き)「声を上げる権利」サービス利用時に、氏名を告げる必要はありません。
2. 通話内容は録音されません。
3. Expolinkは報告された内容をWPP法務部門のシニアメンバーに伝えます。
4. WPPに通話内容を伝えた後、通話に関連した情報をExpolinkが保管することはありません。

「声を上げる権利」のヘルプラインから直接懸念事項を伝えることに抵抗がある場合、以下のリンクからオンラインで送言することができます。

<https://wrs.expolink.co.uk/wpp>

ヘルプライン経由でもオンライン経由でも、報告されたあらゆる懸念事項は機密事項として扱われ、迅速かつ厳密に調査された後、必要に応じて調査が行われます。

その他の情報

WPPでは、懸念事項を報告した個人に対する一切の報復措置も許容していません。当社は、深刻な懸念を抱えている人々が、報復を恐れることなく報告できるよう、安全で機密性の確保された手段を提供することに全力を尽くしています。

法的な理由により、報告された懸念事項の調査に関する情報を報告者に開示することはできません。あらかじめご了承ください。

WPPの行動規範はこちらでご覧いただけます。

<http://www.wpp.com/wpp/about/howwebehave/governance/>